

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

※整理番号：

企画名	木育おもちゃづくり
実施日	平成 30 年 8 月 1 日（水）～ 平成 31 年 3 月 22 日（金）
実施場所	C1 棟おもしろラボ, A2-741（大学院製図室）
企画代表者の氏名, 所属	氏名：吉田 隼 所属：広島大学大学院工学研究科建築学専攻
構成員の氏名	吉田隼 松本雄大 松下健祐 成田宏健 長谷川峻也 菊田菜美子 兵頭周作 山口素子 堀内遥平 梶川大介 藤原佳奈 古川雄 渡邊陸太 小池里佳 田淵貴稔 向田有沙 阪出拓実 姚昊成
指導的立場の教員氏名	角倉 英明（都市・建築計画学研究室）
企画の目的及び内容	<p>こどもにとって遊びは成長・発達につながる重要なものであり、園庭では身体の使い方を、おもちゃなどでは手先の器用さを育む。しかし、保育園では予算の関係から、おもちゃが少なかったり、保育士が手作りしたりとおもちゃの確保に苦慮している施設が多いことがわかっている。この問題を解決するために、学生がおもちゃ製作を行い、それ自体が学生にとっては木材加工の技術を学ぶ機会にもなる。</p> <p>具体的な内容としては、東広島市の保育園 6 園に対して実際に何が不足しているかを調査した上で、それらのいくつかを今年度、残ったものを来年度に製作していく。製作に使う木材に関しては、広島県の企業や森林組合に協力を仰ぎ、可能な限り地域の木材を使用する。</p>
来場者数	—
主催・後援団体（外部のコンテスト等に参加する場合は、そのコンテストの規模）	広島大学大学院工学研究科建築学専攻都市・建築計画学研究室 学生有志
活動の内容（準備、広報活動、当日の様子等）	<p>準備期間について 企業に協力を仰ぐ予定であったが日程調整等がうまくいかず断念し、昨年度に S 工務店から提供していただいていた木材を一部使用することとした。それらに加え、研究室で保有していた木材を使って机などをつくり、木材加工の技術を学んだ。提供先の保育園へは、昨年度製作したおもちゃの現状を聞き、今年度から来年度で欲しいおもちゃについてヒアリングを行なった。</p> <p>製作について 製作は 10 月からはじめ、現在も進行中である。昨年度木材加工の技術を学んだ者も多く、その者達を中心に、その経験・技術を未経験者に伝えながら製作を行なった。随時保育園への提供を行っており、今年度中に製作・提供ともに完了予定である。</p>

（裏面に続く）

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書 (裏面)

アンケートの結果 (来場者にアンケートを実施した場合のみ)

—

成果・課題

成果

製作にあたり、学生が木材加工技術を学びながらおもちゃづくりに加えて、研究室で保有していた木材を利用してイスづくりを行うなど、DIYへの意欲にもつなげることができた。各保育園に提供した(提供予定)のおもちゃは下記の通りである。

提供園	制作物
K 保育所	車, 積み木
I 保育所	パズル
S 保育所	車, 積み木
G 保育所	机
T 保育所	引っ張るおもちゃ
E 保育所	車

課題

- ・企業からの協力をもう少し得ること
- ・製作数を充実させること、おもちゃの精度をさらに高めること

実施風景 (写真)



【提出方法】指定された期限までに本紙を作成の上、電子ファイルで提出してください。
E-mailでも受け付けます。

【提出先】工学研究科支援室 (kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp)